



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 鈴与シンワート株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9360 URL <http://www.shinwart.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 徳田康行  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 足洗俊之 (TEL) 03-5440-2800  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,923	11.7	301	—	323	—	222	—
2023年3月期第2四半期	7,092	5.4	△46	—	△37	—	△44	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 237百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △46百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	75.79	—
2023年3月期第2四半期	△15.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,266	3,206	31.2
2023年3月期	10,178	3,086	30.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,206百万円 2023年3月期 3,086百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	9.7	860	68.5	900	62.6	610	59.9	207.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	3,000,000株	2023年3月期	3,000,000株
2024年3月期2Q	58,078株	2023年3月期	58,078株
2024年3月期2Q	2,941,922株	2023年3月期2Q	2,941,941株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍終息に向けた動きが加速し、社会経済活動の正常化が進んだことから、緩やかに持ち直しの動きを見せ始めています。しかし、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めによる海外景気減速の懸念に加え、資源価格の高騰や円安による物価上昇の進行により、先行きの不透明な状況が依然として続いています。

一方、当社グループの主力である情報サービス事業では、これまでの新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化とDXに対する意欲の高まりが国内企業のIT投資を後押しし、ITサービスに対する需要は引き続き堅調に推移していくことが見込まれ、2025中期経営計画の中間期にあたる2024年3月期は、同計画で掲げた経営ビジョン「徹底した現場力の向上による収益構造の改革」を具現化すべく、「1.受注・売上拡大」「2.収益性の改善」「3.「人財力」の強化」のための施策を継続させるとともに積極的な投資を行っております。

また、物流事業においては、基本である「安全・品質」を具体的に実現・継続させることに集中するとともに、業務のデジタル化に引き続き取り組み、収益力の確保と向上を図っております。さらに、社員の働きやすさを追求し、人財の確保・育成のための施策にも注力しております。

サステナビリティ経営の推進に当たっては、鈴与グループの共通理念である「社会との共生」「お客様・取引先との共生」「社員同士、グループ各社の共生」の3つの「共生(ともいき)」を実践していく上で、6つのマテリアリティを定め、社会貢献できる企業グループであり続けるため、企業価値の向上に努めるとともに、持続可能な社会の実現に向け努力しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は79億23百万円(前年同四半期比11.7%増)、売上総利益は収益性の改善と売上高の伸びにより17億44百万円(前年同四半期比40.2%増)と大幅な増益を達成し、営業利益は3億1百万円(前年同四半期は46百万円の損失)、経常利益は3億23百万円(前年同四半期は37百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億22百万円(前年同四半期は44百万円の損失)と、売上をはじめとして全ての段階利益において第2四半期連結累計期間として過去最高となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①情報サービス事業

売上高は、システム開発案件が堅調に推移したこと、人事・給与・就業・会計等の業務を対象としたパッケージソリューションサービスにおいてバージョンアップや保守対応等の案件が倍増したこと、及びクラウドサービスにおいてデータセンターのサービス料金改定や安全運転支援クラウドサービス「あさレポ」の利用料が増加したことにより、大幅な増収となりました。

以上の結果、売上高は62億50百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

セグメント利益は、システム開発やパッケージソリューションサービスにおいて、きめ細やかな品質管理や原価管理を推進した効果が高付加価値化や生産性の向上となって現れ、増収との相乗効果により収益性の改善が図れたこと、及びクラウドサービスにおける増収効果も加わり大幅な増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は8億88百万円(前年同四半期比91.3%増)となりました。

#### ②物流事業

売上高は、倉庫事業と港運事業において、取扱量が増加し保管残高が好調に推移したことに加え、陸運事業では個人消費及びインバウンドの回復等により外食需要が回復傾向にあり、輸送取扱量が堅調に推移し増収となりました。

以上の結果、売上高は16億72百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。

セグメント利益は、各事業においてエネルギー価格等のコスト上昇に伴い、昨年度から継続して価格改定を実施したことによる収益性の改善に加えて、作業手順の見直し等の業務効率化が寄与し、増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は3億21百万円(前年同四半期比18.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億53百万円減少し、40億56百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加1億43百万円と受取手形及び売掛金の減少6億44百万円、仕掛品の増加2億48百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億41百万円増加し、62億9百万円となりました。これは主として、工具、器具及び備品の増加96百万円とソフトウェアの減少64百万円、繰延税金資産の増加9百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、102億66百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億4百万円減少し、34億4百万円となりました。これは主として、短期借入金の減少1億円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億30百万円、賞与引当金の増加37百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億73百万円増加し、36億55百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少1億42百万円、リース債務の増加2億72百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億19百万円増加し、32億6百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加1億5百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1億43百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には13億95百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億78百万円(前年同四半期における同資金は4億17百万円)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益3億25百万円、減価償却費3億30百万円、売上債権の減少6億44百万円、棚卸資産の増加2億85百万円及び仕入債務の減少1億11百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億67百万円(前年同四半期における同資金は1億65百万円)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1億48百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億67百万円(前年同四半期における同資金は3億6百万円)となりました。

これは主に、短期借入金の純減額1億円、長期借入金の返済による支出2億72百万円及びリース債務の返済による支出77百万円、配当金の支払額117百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2023年11月10日)公表いたしました「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,252	1,395
受取手形及び売掛金	2,656	2,012
仕掛品	101	349
その他	199	299
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,209	4,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	664	607
工具、器具及び備品（純額）	287	383
土地	2,472	2,472
その他（純額）	550	772
有形固定資産合計	3,975	4,236
無形固定資産		
ソフトウェア	296	231
のれん	24	21
その他	73	93
無形固定資産合計	394	346
投資その他の資産		
投資有価証券	518	540
繰延税金資産	828	837
その他	272	269
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	1,598	1,627
固定資産合計	5,968	6,209
資産合計	10,178	10,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	844	732
短期借入金	800	700
1年内返済予定の長期借入金	471	341
リース債務	158	159
未払法人税等	125	149
賞与引当金	545	582
受注損失引当金	3	-
その他	661	738
流動負債合計	3,609	3,404
固定負債		
長期借入金	852	709
リース債務	331	604
再評価に係る繰延税金負債	171	171
役員退職慰労引当金	23	21
退職給付に係る負債	2,001	2,046
その他	101	101
固定負債合計	3,482	3,655
負債合計	7,091	7,059
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	802	802
資本剰余金	162	162
利益剰余金	1,880	1,985
自己株式	△37	△37
株主資本合計	2,807	2,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	45
土地再評価差額金	248	248
退職給付に係る調整累計額	1	0
その他の包括利益累計額合計	279	294
純資産合計	3,086	3,206
負債純資産合計	10,178	10,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,092	7,923
売上原価	5,848	6,179
売上総利益	1,243	1,744
販売費及び一般管理費	1,289	1,442
営業利益又は営業損失(△)	△46	301
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	7
持分法による投資利益	-	2
経営指導料	8	8
受取賃貸料	9	9
その他	8	9
営業外収益合計	32	37
営業外費用		
支払利息	17	13
持分法による投資損失	3	-
その他	3	1
営業外費用合計	23	15
経常利益又は経常損失(△)	△37	323
特別利益		
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	-	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△37	325
法人税等	7	102
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44	222
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44	222



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44	222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	14
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△2	14
四半期包括利益	△46	237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46	237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△37	325
減価償却費	305	330
のれん償却額	3	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	17	13
持分法による投資損益(△は益)	3	△2
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△2
売上債権の増減額(△は増加)	591	644
棚卸資産の増減額(△は増加)	△205	△285
仕入債務の増減額(△は減少)	△98	△111
未払金の増減額(△は減少)	5	98
賞与引当金の増減額(△は減少)	37	37
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6	△1
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	45
未払消費税等の増減額(△は減少)	△116	△76
その他	8	6
小計	509	1,013
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△17	△14
法人税等の支払額	△86	△141
法人税等の還付額	-	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	417	878
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△39	△148
有形固定資産の売却による収入	-	2
無形固定資産の取得による支出	△125	△20
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165	△167
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	△100
長期借入金の返済による支出	△426	△272
リース債務の返済による支出	△92	△77
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△87	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306	△567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55	143
現金及び現金同等物の期首残高	1,159	1,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,103	1,395

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,493	1,598	7,092	—	7,092
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,493	1,598	7,092	—	7,092
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	1	2	△2	—
計	5,495	1,600	7,095	△2	7,092
セグメント利益又は損失(△)	464	271	736	△782	△46

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△782百万円は、セグメント間取引消去11百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△790百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,250	1,672	7,923	—	7,923
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,250	1,672	7,923	—	7,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	1	2	△2	—
計	6,251	1,673	7,925	△2	7,923
セグメント利益	888	321	1,209	△908	301

(注) 1 セグメント利益の調整額△908百万円は、セグメント間取引消去11百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△916百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。